

風の音を聴きながら、海を眺める公園墓地。



公益財団法人 二見ヶ浦公園聖地

www.futamigaura.jp

いとしま 絵散歩



神在の神石 かみありのしんせき

[所在地] 糸島市神在801-1 (JR加布里駅から徒歩約20分)



「ロマンが広がる神在の巨石」

私たち二見ヶ浦公園聖地の所在する糸島市にはその名も神々しい「神在(かみあり)」という地名がございます。その昔、三韓征伐へ向かう途中の神功皇后(じんこうこうごう)が、この辺りをお通りになられた際、紫色にたなびく雲をご覧になられ、「霞たなびき、神が在られる」と言われたことが地名の由来とされています。そしてこの地域に鎮座するのが「神在神社(かみありじんじや)」。伊弉諾尊(いざなぎのみこと)をはじめ菅原神まで七体の神様が祀られ、埴安命(はにやすのみかみ)の足形石も安置されている由緒ある神社です。静かに肅々とした地で時を繋いできました。数年前、神社から奥に進んだ場所にある「神石(しんせき)」が新聞などで紹介されて以来、多くの人が参拝に訪れるようになったようです。



緑美しい青竹が生い茂る季節には、より神々しさが増します。

神石は、神在神社の社殿から歩いて五分ほど進んだ竹やぶの中に現れます。数年前までは地域の人にさえもその存在を知られていなかったようですが、その外周は約16メートル、高さは約4メートルの巨大な石。下から見上げるとその迫力に圧倒されます。神石の周りでは勾玉(まがたま)も発見されたことがあるそうです。

「ここで祭祀が行われていたので『なぜここにこんなに大きな石が』などと、古墳や史跡が多い糸島だけに、太古に思いを馳せるとロマンが広がります。



JR加布里駅の西側は春のお散歩コースに最適。

神々しい息から 巨大な岩が 鎮座する 神在神社の裏 林道。 立ち止まり 両手を広げて 深呼吸。



